

令和7年度 総務常任委員会行政視察報告書

1 参加委員

(委員長) 藤村 優佳理 (副委員長) 滝口 友美

(委員) 金田 俊信 (委員) 岸 正明 (委員) 水島 誠司 (委員) 柁木 太郎

2 視察日時

令和8年1月21日(水曜日) 午前10時00分から午前11時30分

3 視察先

静岡県掛川市

4 視察事項

(1) 若手の提案で働き方が変わる職場について

(2) 人事異動エントリー制度について

5 視察概要

	(担当 滝口 友美)
視察先選定理由	<p>掛川市役所は、職員のウェルビーイングと行政サービスの向上を目指し、「働き方改革2.0」に取り組んでいる。その中で主に次の2点において事例を調査・研究し、今後の本市における施策の参考とするため視察先として選定した。</p> <p>1. 若手の声が活きる職場環境について</p> <p>若手職員の意見や提案を吸い上げるため、どのような制度・仕組みを導入されているか。また、その背景と導入に向けての経緯。</p> <p>2. 人事異動エントリー制度について</p> <p>人事異動エントリー制度の具体的な目的、方法及びエントリー後の選考・決定プロセスについて。また、エントリー制度導入後の職員のモチベーションやキャリア形成などに関する効果及び今後の改良や見直し点。</p>
内 容	<p>1. 若手の声が活きる職場環境について</p> <p>人口減少による採用難などの課題に直面する中で、「働き方改革2.0」として、業務の効率化だけでなく職員の「働きがい」「働く環境」「コミュニケーション」という3つの柱をたてて、多角的にアプローチしている。</p> <p>「働きがい」に関しては、やる気やチャレンジに応えるとのことで、仕事での成果による達成感や自分の成長による自己実現などを、職員一人ひとりが実感できる状態を目指す。</p> <p>「働く環境」に関しては、ワークライフバランスを実現するとのことで、多様な人材が働ける、柔軟な働き方を実現している状態を目指す。</p>
・事業概要	
・効果、推移	
・課題	
・今後の方向性	

	<p>「コミュニケーション」では、ウェルビーイングを支えるとのことで、全方向・双方向のコミュニケーションが活性化し、全ての職員にとって心理的安全性の高い組織を目指す。</p> <p>具体的には、職員の集中力や睡眠時間などを科学的エビデンスに基づき工夫したり、エンゲージメントの高い職員の具体的な行動として、「PRIDE（誇り）」「PASSION（情熱）」「CHALLENGE（挑戦）」をあげることにより、組織全体のエンゲージメント向上に取り組んでいる。</p> <p>その結果として、令和7年度のエンゲージメントサーベイでは、経営陣（部長以上）が、経営方針・組織運営方針と達成目標を明確にしているという項目が上昇しており、仕事の目的や行動に対して責任感を持ち、自発的に行動する職員が増えるという効果があった。</p> <p>2. 人事異動エントリー制度について</p> <p>令和7年度は「キャリアデザイン制度」として、職員の主体的なキャリア形成によるやりがいや貢献・成長実感による組織の活性化を目的に、人事異動における個人のキャリア形成を実現するための制度。人事課長から各部課長にジョブ（新規・強化事業等）の公募を求め、各課が求める人材とジョブを明確化することで、「職員のやりがいと成長」「各課のエンゲージメント向上」「庁内全体の連携促進」の相乗効果を目指す。具体的には、公募シートに該当課の業務概要や今後の重点事業及び求める人材等を記入し提出。人事課は、提出されたシートをとりまとめ、庁内に公募。応募者は、上記公募に対し、自らの熱意と能力をエントリーシートに記入し、人事課へ提出する。現在は人事課で取りまとめている段階である。</p>
<p>考 察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市との比較 ・本市への事業導入の可能性 ・今後の検討内容 	<p>本市においてもテレワークや柔軟な働き方改革に取り組んでいるが、掛川市のように職員のエンゲージメント向上を重視し、職員が自身のキャリアや働きがいを主体的に選択できる制度を導入することが必要と考える。また、掛川市は、組織内のコミュニケーションの強化を図り、経営陣からの発信で、一人ひとりの職員が組織の方向性を踏まえて自分の業務が進められることが仕事のやりがいにつながっており、数字に表れていることから、本市においても大いに参考にしていけると考える。</p> <p>また、本市においても女性活躍やキャリアデザインに関する研修を積極的に実施しているが、掛川市の「キャリアデザイン制度」を取り入れ、各課が求める人材とジョブを明確化することにより、職員一人ひとりの主体的なキャリア形成を支援できると考える。</p>
<p>備 考</p>	